

2017年(平成29年)3月31日

テレビ放送、選手認知度、大学による支援環境などを調査研究 平成28年度「障害者スポーツ調査研究報告書」を発行

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、スポーツ文化・啓発事業における調査研究の平成28年度「障害者スポーツ・プロジェクト」の活動結果を報告書にまとめ、このたび発行しました。当財団は平成24年度から障害者スポーツを取り巻く社会的課題の調査研究に取り組んでいます。報告書は当財団ウェブサイトでも公開します。 <http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/>

■報告書タイトル

「障害者スポーツの振興と強化に関する調査研究報告書
-テレビ放送、選手認知度、大学による支援に注目して-」

■報告書の概要(全5章で構成)

- 【第1章】 障害者スポーツ・プロジェクトの活動経過と今後の課題
これまでの活動内容トピックス、また将来に向けた重要テーマに関して記述。
- 【第2章】 テレビメディアによる障害者スポーツ情報発信環境調査
パラリンピック過去3大会(北京、ロンドン、リオ)の東京都における地上波テレビ放送分析。
- 【第3章】 パラリンピアンに対する社会的認知度調査
リオ2016パラリンピックで活躍したアスリートの認知度等に関するインターネット調査結果。
- 【第4章】 大学における障害者スポーツ現状インタビュー
障害学生や障害者スポーツの支援に先進的な取り組みを行っている2大学にインタビュー。
- 【第5章】 シンポジウム2016「障害者スポーツ選手発掘・育成システムのモデル構築に向けて」抄録集
平成27年度調査報告と障害者スポーツ関係者を招いたパネルディスカッションを紹介。

■障害者スポーツ・プロジェクト (※五十音順。平成29年3月31日現在)

リーダー：藤田紀昭(日本福祉大学 スポーツ科学部 教授)
委員：浅見俊雄(東京大学・日本体育大学 名誉教授/当財団 理事)
小淵和也(公益財団法人笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 研究員)
河西正博(びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 専任講師)
齊藤まゆみ(筑波大学体育系 准教授)
中森邦男(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 強化部 部長
/日本パラリンピック委員会 事務局長)

※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当:尾鍋)

2017年(平成29年)3月31日

ジャパンラグビートップリーグに着目して 平成28年度「トップスポーツ調査研究報告書」を発行

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、スポーツ文化・啓発事業における調査研究の平成28年度「トップスポーツ・プロジェクト」の活動結果を報告書にまとめ、このたび発行しました。当財団は平成27年度からトップスポーツの現状と課題に関する社会学的な調査研究に取り組んでいます。報告書は当財団ウェブサイトでも公開します。 <http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/>

■報告書タイトル

『「トップスポーツ」の持続可能なシステム構築に向けた探索的調査その1
－ ジャパンラグビートップリーグに着目して －』

■報告書の概要(全3章で構成)

【第1章】 トップスポーツ・プロジェクトの問題意識・研究目的

キーコンセプト「トップスポーツ」の位置づけや「企業スポーツ」の課題、「地域密着型スポーツ」の行方など、本プロジェクトの目的や狙いについて紹介。

【第2章】 ジャパンラグビートップリーグにおけるスタジアム観戦者調査

ラグビーワールドカップ2019日本大会の試合会場地である兵庫県と静岡県で開催された2016-2017シーズンのラグビートップリーグ2試合のスタジアム観戦者調査を報告。併せて「企業スポーツにおけるコース・リレーテイド・マーケティングとトライアルの効果」も紹介。

【第3章】 ラグビーフットボール関係者のインタビュー

ジャパンラグビートップリーグや各地域におけるラグビーフットボールの普及振興に関する目標や課題などについて、関係3競技団体に実施したインタビュー調査結果を紹介。

■トップスポーツ・プロジェクト (※五十音順。平成29年3月31日現在)

リーダー：岡本純也(一橋大学大学院 商学研究科 准教授)

委員：浅見俊雄(東京大学・日本体育大学 名誉教授／当財団 理事)

澤井和彦(明治大学 商学部 准教授)

澁谷茂樹(公益財団法人笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 主任研究員)

中村英仁(一橋大学大学院 商学研究科 専任講師)

涌田龍治(京都産業大学 経営学部 准教授)

※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当：尾鍋)